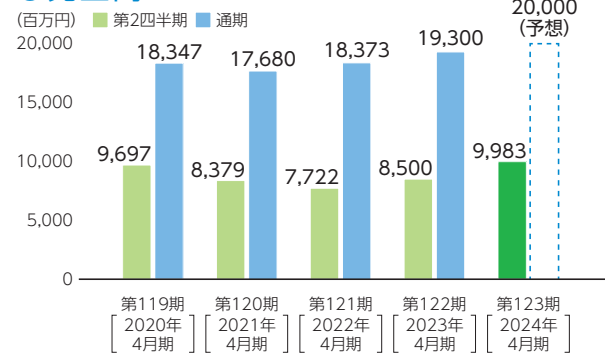
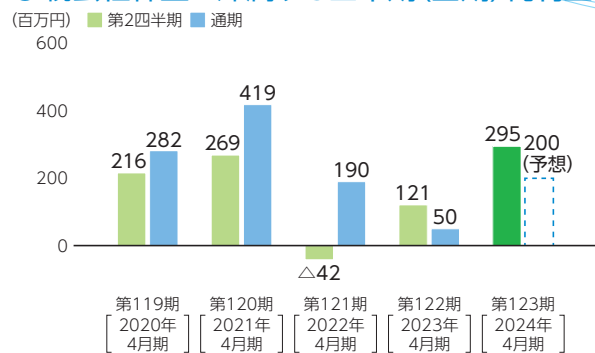


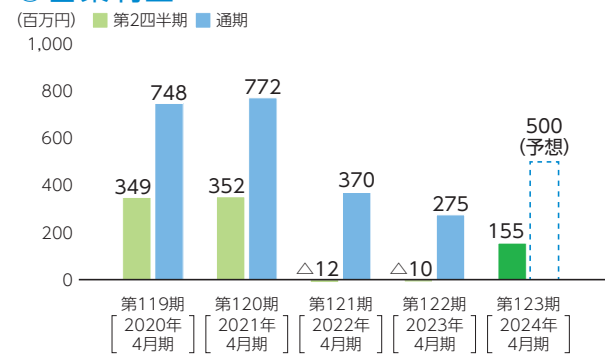
売上高



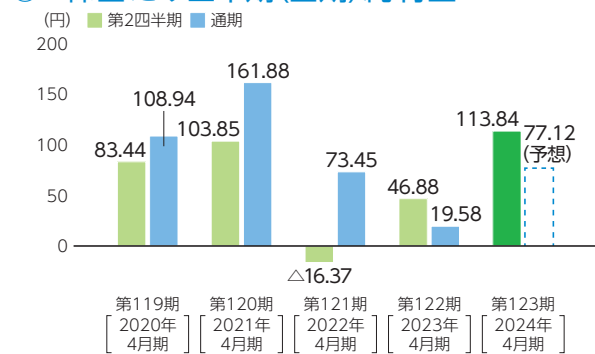
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



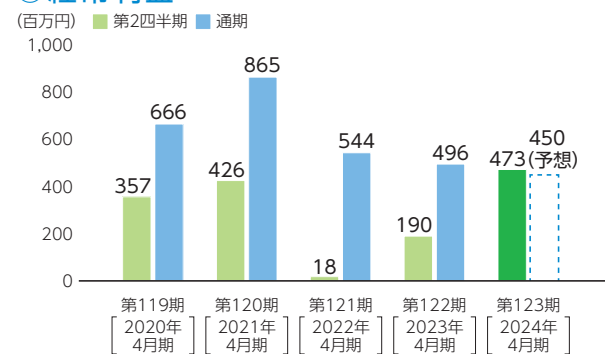
営業利益



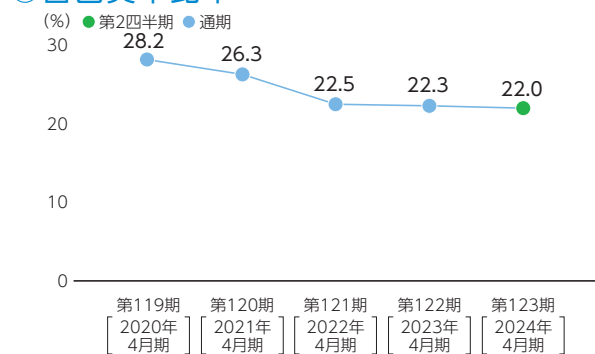
1株当たり四半期(当期)純利益



経常利益



自己資本比率



会社概要

(2023年10月31日現在)

設立 1910年(明治43年)8月
 資本金 1,378百万円
 従業員数 294名(連結911名)
 東京本社 東京都港区新橋二丁目20番15-701号
 福山本社 広島県福山市一文字町14番14号
 工場 函館・福山
 事業所等 札幌・網走・函館・石巻・東京・高岡・福山・九州・紋別・釧路・八戸・いわき

取締役及び監査役

(2023年10月31日現在)

代表取締役社長 小林 宏 明
 専務取締役 小林 重 久
 取締役 西 郷 清 彦
 取締役 北 方 浩 樹
 取締役 野 村 芳 徳
 取締役 岡 耕 一 郎
 取締役 杉 之 原 祥 二
 常勤監査役 小 柴 訓 治
 常勤監査役 杉 森 和 夫
 監査役 立 川 隆 造
 監査役 佐 藤 卓 己

主要グループ会社

(2023年10月31日現在)

[国内]
 多久製網株式会社 有限会社吉田漁業部
 株式会社泰東 株式会社温泉津定置
 日東ネット株式会社 株式会社庄司政吉商店
 日本ターニング株式会社 ヤマグチ株式会社
 CNK株式会社

[海外]
 レデス・ニッター・チリ・リミターダ(チリ)
 タイ・ニットウセイモウ・グローバルCo.,Ltd.(タイ)

株式の状況

(2023年10月31日現在)

発行可能株式総数 6,400,000株
 発行済株式の総数 2,605,000株
 株主数 4,324名

株主メモ

事業年度 毎年5月1日から翌年4月30日まで
 定時株主総会 毎年7月下旬
 基準日 定時株主総会・期末配当：毎年4月30日
 中間配当：毎年10月31日
 その他必要があるときは、あらかじめ公告する一定の日。
 株主名簿管理人及び特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 [郵便物送付先] 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 [電話照会先] 0120-782-031(フリーダイヤル)
 公告方法 電子公告
 <公告掲載URL> <https://www.nittoseimo.co.jp/>
 但し、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
 上場証券取引所 東京、名古屋

第123期 中間報告書

2023年5月1日から2023年10月31日まで

変化する社会のニーズを捉えた製品・サービスの提供に取り組んでまいります。



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、当社第123期第2四半期連結累計期間(2023年5月1日から2023年10月31日まで)の事業業績の概況等につきましてご報告申し上げます。

2024年1月

代表取締役社長 **小林宏明**

Q.1 当第2四半期の市場環境と業績はいかがでしたか?

当社グループ主力ユーザーの水産業界におきましては、海洋環境や気象状況の変動による漁獲量の減少やALPS処理水放出の影響が懸念される状況となっており、燃油価格の高騰、資材や物流コストの上昇等により、事業収益は圧迫されております。しかし、一部の魚種で

は漁獲量や魚価の回復が見られ、外食産業向けの魚や水産物の需要も増加しております。ばらつきはあるものの国内の漁船漁業者は、漁業資材等の設備投資意欲が戻ってきております。

このような状況のもと、当社グループの売上高は、漁業者の設備投資意欲回復に伴い、定置網部門や旋網部門の売上高が増加しました。また、陸上部門でも獣害防止ネットや陸上ネットの施工工事の受注が堅調であったこと等

の提供に取り組んでまいります。

から前年同期と比べて売上高は増加しました。営業利益は、海外の生産拠点を含め、原材料価格が上昇したことに加え、人件費や新事業所関連の減価償却費等のコスト増加がありましたが、漁業部門の売上高が増加したことや、適正な在庫を確保し、お客様のニーズに合った製商品の短納期化を推進したこと等により、前年同期と比べて増加しました。また、営業外収益として、円安による為替差益及び生命保険や漁獲共済等の受取保険金が発生しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,983百万円(前年同期比17.4%増)、営業利益は155百万円(前年同期は10百万円の営業損失)、経常利益は473百万円(前年同期比148.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は295百万円(前年同期比142.8%増)となりました。

Q.2 通期の課題と対応、業績予想をお聞かせください。

業績面につきましては、第4四半期が当社グループの売上高が最も多くなる時期であり、コロナ禍の沈静化に伴い、経済活動の正常化が進んでおります。しかしなが

ら、資源価格や原材料価格の高騰及び為替の変動等が引き続き懸念され、現時点では以下の見通しです。

漁業関連事業につきましては、水産物の需要増加や魚価の回復が見られることにより、漁業者の設備投資意欲回復に伴い、定置網部門や旋網部門の受注が堅調であり、その他の漁業資材の需要拡大も見込んでおります。また、オリジナル商材の販売を積極的に行い、加えて、お客様のニーズに合った提案を行っていき、売上高、収益の確保・拡大を図ってまいります。

陸上関連事業につきましては、獣害防止ネットは引き続き安定した受注を見込んでおります。主力商品であるスポーツネットや落石防止ネット、遊具、アスレチックネット等を中心に積極的に拡販してまいります。

2024年4月期の通期業績につきましては今後の社会情勢、経済環境により、変動する可能性はありますが、売上高20,000百万円、営業利益500百万円、経常利益450百万円、親会社株主に帰属する当期純利益200百万円を見込んでおります。配当につきましては、第123期の期末配当金として1株当たり50円を予定しております。

株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

漁業関連事業

8,433百万円 (84.47%)

売上高は8,433百万円(前年同期比21.7%増)となりました。主な要因は、水産物の価格の上昇や需要の増加等により、定置網部門や旋網部門等の受注が堅調となり、売上高は増加しました。利益面は、原材料価格が上昇したことに加え、人件費や新事業所関連の減価償却費等のコストは増加しましたが、漁業関連事業全般の売上高が増加したことにより、セグメント利益は227百万円(前年同期は29百万円のセグメント損失)となりました。

事業紹介



定置網



海苔網



船舶

定置網をはじめ、旋網、底曳網、養殖網、海苔網など、漁業に欠かせない製品を数多く提供しております。また、漁網の設置や漁場調査、漁場に適した網の設計、仕立といったソフト面のサポートも充実しております。さらには、漁獲された魚の販売や販売先の紹介など、漁業の現場に即した事業展開を心がけております。これからも蓄積した技術に加え、新しい技術を積極的に生かして、お客様のご要望に対応してまいります。

その他
0百万円
(0.01%)

陸上関連事業

1,549百万円 (15.52%)

売上高は1,549百万円(前年同期比1.2%減)となりました。主な要因は、獣害防止ネットや落石防止ネット、陸上ネットの施工工事の受注は堅調でしたが、防虫網の受注が低調となったことにより売上高は減少しました。利益面は、売上高の減少と人件費等のコストが増加したことにより、セグメント損失は72百万円(前年同期は19百万円のセグメント利益)となりました。

事業紹介



防虫網



落石防止ネット

サッシ用防虫ネットや防球ネット、獣害防止ネットから遊具ネットに至るまで、様々なシーンでご利用いただける製品を提供しております。環境問題意識が世界的に高まる中、SDGs達成に向けて商品開発にも注力しております。中でも獣害防止ネットは20年以上前より生分解性ネットの開発を独自で行い、エコフレンドリーな活動を継続してまいりました。今後も時代の変化に合わせた繊維製品の提供を行うことが当社グループの社会的使命と考え、環境負荷の少ない商品やサービスの提供を通じて社会貢献を目指してまいります。



遊具アスレチックネット

第123期
〔2024年4月期〕
第2四半期
売上高構成